

## 予算決算委員会民生教育分科会会議録

### 招 集

令和5年9月22日（金）午前10時 委員会室

### 出席委員（7名）

（委員長）今 城 雅 子 （副委員長）塚 田 佳 充

安 達 卓 是 戸 田 隆 次 錦 織 陽 子 西 野 太 一

矢田貝 香 織

### 欠席委員（1名）

土 光 均

### 説明のため出席した者

伊澤副市長

浦林教育長

【市民生活部】藤岡部長

[市民一課] 小乾課長

[市民二課] 田村課長 坂本市民相談担当課長補佐

[保険年金課] 吉持課長 足立年金医療担当課長補佐

[市民税課] 長谷川次長兼課長 仲田課長補佐兼税制担当課長補佐

山内市民税担当課長補佐

[固定資産税課] 永江次長兼課長

[収納推進課] 大野原課長

[環境政策課] 木下次長兼課長 宮脇環境保全担当課長補佐 大塚環境保全担当主任

[クリーン推進課] 高浦課長 池口課長補佐兼廃棄物対策担当課長補佐

遠藤施設管理担当課長補佐

【福祉保健部】塚田部長

[福祉政策課] 中本課長 久保福祉政策担当課長補佐 赤江福祉政策担当主任

[障がい者支援課] 米田課長 松原計画支援担当係長

[長寿社会課] 足立課長 荒松介護保険第二担当係長 秦介護保険第二担当主任

[健康対策課] 渡部課長 小西新型コロナウイルスワクチン接種推進室長

[フレイル対策推進課] 頼田課長 井原課長補佐 古磯事業推進担当主任

【こども総本部】瀬尻部長

[こども政策課] 長谷川次長兼課長 永見子育て政策担当主任

[こども相談課] 松竹課長 山川課長補佐兼発達支援担当課長補佐

[こども施設課] 斎木課長 榎本子育て施設担当課長補佐

[こども支援課] 長尾課長 松永課長補佐兼子育て支援担当課長補佐

【教育委員会事務局】長谷川局長兼こども政策課長

[こども政策課] 遠藤課長補佐 木村学校政策担当課長補佐

[こども施設課] 斎木課長 宇山課長補佐兼学校施設担当課長補佐

[こども支援課] 長尾課長 植田就学支援担当課長補佐

[学校教育課] 西村次長兼課長 岡田課長補佐兼人権教育担当課長補佐

仲倉課長補佐 平野担当課長補佐

[生涯学習課] 毛利課長 木嶋生涯学習担当課長補佐 永瀬図書館長

[学校給食課] 伊藤課長 野口課長補佐兼給食担当課長補佐

### 出席した事務局職員

松田局長 田村次長 坂本議事調査担当係長 松下調整官

### 傍聴者

伊藤議員 稲田議員 岩崎議員 大下議員 岡田議員 奥岩議員 門協議員

田村議員 津田議員 又野議員 松田議員 森谷議員 吉岡議員

報道関係者 2人 一般 0人

### 審査事件

議案第79号 令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち当分科会所管部分

議案第80号 令和5年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第2回）

~~~~~

### 午前10時30分 再開

○**今城分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を開会いたします。

土光委員から欠席の届出がありましたので、御報告いたします。

本日は、9月11日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案2件について審査をいたします。

議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、教育委員会所管部分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

木村こども政策課学校政策担当課長補佐。

○**木村こども政策課学校政策担当課長補佐** 議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、教育委員会所管部分の御説明をいたします。説明につきましては、別途お配りさせていただいております歳出予算の事業の概要、予算説明資料を御覧ください。

8ページをお開きください。上の段、義務教育学校整備事業についてですが、補正額4億3,296万7,000円を計上しております。これは、美保中学校区における義務教育学校の整備に関わる建設候補地について、不動産鑑定に基づき土地の購入及び物件の移転補償を行うための経費のほか、当初の予定より前倒しで開校準備委員会を設置し、開校に当たり必要な事項を調査、検討をするための経費でございます。

説明は以上でございます。

○**今城分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。

安達委員。

○**安達委員** 何点か確認も含めて聞きたいんですが、土地の購入面積は以前も数字は聞いたことあるんですが、この場でお聞きしたいと思いますが、面積は幾らですか。

○**今城分科会長** 長谷川教育委員会事務局長。

○**長谷川教育委員会事務局長** 候補地の面積ですけれども、約4万5,000平米でございます。

○**今城分科会長** 安達委員。

○**安達委員** それと、細かいですが、移転補償の具体的な中身というのは、どんなことをおっしゃってるんですか。

○**今城分科会長** 長谷川教育委員会事務局長。

○**長谷川教育委員会事務局長** 予算のうちの移転補償でございますけれども、候補地の中に建物が何棟かございますので、そのところの補償費となっております。

○**今城分科会長** 安達委員。

○**安達委員** それと、財源ですけれども、国庫支出金を充てておられると思うんですが、2,839万3,000円、これのみですか。違いますか、私が感じ取った数字はこのようになるんですが。

○**今城分科会長** 長谷川教育委員会事務局長。

○**長谷川教育委員会事務局長** 財源につきましては、土地購入部分が地方債としております。その他、開校準備委員会等の事務的な経費につきましては、一般財源としてるところでございます。

○**安達委員** 分かりました。以上です。

○**今城分科会長** ほかにはございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**今城分科会長** ないようですので、以上で教育委員会の所管部分については審査を終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午前10時34分 休憩**

**午前11時17分 再開**

○**今城分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

初めに、議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、子ども総本部所管部分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

松永こども支援課長補佐。

○**松永こども支援課長補佐兼子育て支援担当課長補佐** 議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、子ども総本部所管部分を御説明申し上げます。予算説明資料、歳出予算の事業の概要を御覧ください。

まず、5ページをお開きください。下の段、保育所等整備事業についてですが、2,664万1,000円を増額しております。この事業は、保育所等を運営する民間事業者に対する施設整備費の助成事業でございます。このたび国の交付要綱の改正に伴い補助額が増額したことにより、補正での対応をお願いするものでございます。なお、補助負担割合の変更により、国の負担額が増額となる一方で、市の負担額は減額となっております。

次に、6ページをお開きください。上の段、米子市就学前児童育児手当事業についてですが、2億6,326万5,000円を計上しております。これは、物価高騰下において、

おむつ、育児用品や各種保育サービス利用料等の子育てに係る経済的負担を軽減するため、就学前児童を養育する世帯に対し、本市独自の手当として児童1人当たり3万円を支給するものでございます。対象児童は、本年8月31日時点で本市に住民登録がある6歳以下の就学前児童及び本年9月1日から令和6年3月31日までの間に生まれ、本市で子育て応援給付金の対象となった児童でございます、その保護者へ手当を支給するものでございます。

説明は以上でございます。

○**今城分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。

錦織委員。

○**錦織委員** 5ページの保育所等整備事業ですけど、これはどこのこども園でなのかな、1事業者ということですけど。

○**今城分科会長** 長谷川こども総本部次長。

○**長谷川こども総本部次長兼こども政策課長** こちらにつきましては、良善幼稚園さんの建て替えに伴う助成でございます。

○**錦織委員** 分かりました。

○**今城分科会長** ほかにはございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**今城分科会長** ないようですので、以上で子ども総本部所管部分についての審査を終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午前11時21分 休憩**

**午前11時35分 再開**

○**今城分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、市民生活部所管部分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

小乾市民一課長。

○**小乾市民一課長** 議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）について、市民生活部所管部分を御説明いたします。それでは、お手持ちの令和5年度一般会計補正予算（補正第4回）歳出予算の事業の概要の1ページをお開きください。

上段、消費者行政推進事業についてでございますが、こちらは市民二課所管の予算で、30万円を計上しております。これは、近年増加している高齢者等を対象とした特殊詐欺の被害を未然に防ぐため、消費生活上配慮を要する高齢者等が居住する世帯が防犯機能付電話機、またはカメラつきドアホンを購入する費用を助成する経費を計上するものです。

続いて、5ページ上段、医療助成事務費についてでございますが、こちらは保険年金課所管の予算で、328万3,000円を計上しております。これは、令和6年4月から始まる小児医療費無償化に対応するため、システム改修の経費と、新しい受給資格証の作成及び発送に必要な経費を計上するものです。

説明は以上です。

○**今城分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。

錦織委員。

○**錦織委員** 1ページの消費者行政推進事業で、電話機だとかドアホン購入の助成なんですけど、これ一応30台ということになっていますが、申込みがこれよりもっと多かった場合、それはそのように順次出されるんでしょうか。

○**今城分科会長** 田村市民二課長。

○**田村市民二課長** 今議会で予算計上しております30台を超えた場合の対応についてでございますけれども、今のところ県の補助金を活用して実施を予定している事業でございますので、県と協議した上で対応を考えたいというふうに考えております。以上でございます。

○**今城分科会長** よろしいですか。

ほかにはございませんか。

矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 市民の皆様への周知はどのようになさっていますでしょうか。

○**今城分科会長** 田村市民二課長。

○**田村市民二課長** この事業の周知につきましてですが、広報よなごの10月号への掲載を予定しておりますほか、ホームページですとか、あとはケーブルテレビの情報番組の宣伝枠を活用をしてPRをしたいというふうに考えております。以上でございます。

○**今城分科会長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 十分な周知をお願いします。

○**今城分科会長** ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**今城分科会長** ないようですので、以上で市民生活部所管部分についての審査を終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午前11時39分 休憩**

**午後1時00分 再開**

○**今城分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

初めに、議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、福祉保健部所管部分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

久保福祉政策課福祉政策担当課長補佐。

○**久保福祉政策課福祉政策担当課長補佐** 議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、福祉保健部が所管する部分につきまして、歳出予算の概要等を御説明いたします。

まず、歳出予算の事業の概要、9月補正予算一般会計を御用意いただき、3ページをお開きください。3ページの上の段の原油価格・物価高騰に伴う生活支援事業ですが、5,283万3,000円を増額しております。これは、昨今の物価高騰や光熱費等の価格上昇の影響を受けやすい生活保護受給世帯等に対し、一律1万5,000円の現金給付を行うも

のでございまして、約3,500世帯に対して支給を行おうとするものでございます。

次に、3ページの下の段の重度障がい児者支援事業ですが、1,380万円を増額しております。これは、医療的ケアを要する重度の障がい児者を支援するため、2つの事業を実施しようとするものです。1つ目は、在宅で生活する重度の障がい児者等の支援体制を強化するため、訪問支援や外出支援を行う居宅介護等のサービス提供事業者の経費負担の軽減を図ることを目的に補助を実施するものでございます。2つ目は、医療的ケアを要する重度障がい児者の地域における生活拠点づくりを行うために、サービスを提供するグループホームに対し、看護職員等の支援体制整備に必要な経費の一部を補助するためのものでございます。これらの事業につきまして、予算を補正し対応するものでございます。

次に、4ページの上の段の高齢者施設整備事業ですが、971万円を増額しております。これは、要介護状態になることの予防、要介護状態等の軽減または悪化の防止のために設置する介護予防拠点の施設を整備する事業者に対し、整備費の一部を補助するため、予算を補正し対応するものでございます。

次に、4ページの下の段のフレイル予防実践応援キャンペーン事業ですが、333万5,000円を計上しております。これは、今年度実施している65歳以上の対象者へのフレイル度チェックと、その結果に応じた予防実践の取組をさらに促進するため、地域でのイベント等にブースを設置し、フレイル度チェックの機会を増やすとともに、予防実践教室や、フレイル予防チケットを全て利用された方に抽せんでお米券をプレゼントするなどして行動化を促すよう、予算を補正し対応するものでございます。

次に、6ページの下段の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業ですが、1億5,717万3,000円を計上しております。これは、新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種が令和6年3月31日まで延長となったことに伴い、現在、令和4年度からの繰越予算で事業実施しておりますが、令和5年秋開始接種を含めた今後のワクチン接種者の実績見込みに基づき、予算を補正し対応するものでございます。

説明は以上でございます。

**○今城分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。

塚田委員。

**○塚田委員** 私は、4ページ下の段、フレイル予防実践応援キャンペーン事業についてなんですけど、③番のフレイル予防に対する行動化の促進で、抽せんでお米券ってなってますけど、お米券、金券ですよ。金券を抽せんで配るといのはいかがかなと思いますし、フレイル対策っていうのは、運動して、皆さんにいいですよ、促進していきましょう、健康に長生きしていきましょうっていう方々に来てもらうっていうのに、こういうのはどうかなって思っていて、修了された方全員に何か、米子市の例えばネギ太のグッズをあげるとか、全員配れるような方法とかなないのかな、抽せんっていうのはちょっといかがかなと。それと、金券が、ちょっとどうなのかなと私は思いますが、どうでしょうか。

**○今城分科会長** 頼田フレイル対策推進課長。

**○頼田フレイル対策推進課長** このインセンティブについてでございますけれども、この事業としましては、まずフレイル度のチェックをしていただきまして、御自身の状況に気づいていただく。その後で、例えば予防であったり、そのまま改善というようなところま

で、行動化というところにどうやってつなげていくかということが、やはり重要であるというふうに思っております。そうした中で、いろんな手法あろうかと思えますけれども、例えばマイナンバーカードのときに、マイナポイントというようなものがありましたけれども、幾らかそういった動機づけのような形でインセンティブを設けてはいかがかということで、今回このような提案をさせていただいたというところでございます。

こういった修了が終わりました方につきましては、こういった抽せただけではなくて、修了証というものが皆さんのところにお渡しをして、そういったような動機づけというのも加えていきたいというふうに思っているところです。以上です。

○**今城分科会長** 塚田委員。

○**塚田委員** 例えば、認知症研修終わった方は、オレンジ色の輪っかがありますが。ああいう感じで皆さんに配れるような、修了証書っていうだけでは目立たないので、何か修了したよっていうのが皆さんに分かるように、それをつけてる人がまた、つけてない人に声かけしてフレイル対策しましょうっていうのをしていけるように、何かみんながもらえる、みんながつけて促進していく方法のほうが私はいいと思いますが、いかがでしょうか。

○**今城分科会長** 頼田フレイル対策推進課長。

○**頼田フレイル対策推進課長** このたびの補正予算の中身には、そういった先ほど申し上げたような修了証ということを念頭に置いた予算組みということを考えておりましたけれども、今、委員の御指摘も含めて、こういったことができるか改めてちょっと検討したいと思えます。

○**塚田委員** よろしくお願ひします。

○**今城分科会長** ほかにはございませんか。

では、ないようですので、本件については審査を終了いたします。

次に、議案第80号、令和5年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第2回）についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

久保福祉政策課福祉政策担当課長補佐。

○**久保福祉政策課福祉政策担当課長補佐** 議案第80号、令和5年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第2回）につきまして、歳出予算の概要等を御説明いたします。令和5年度9月補正予算介護保険事業特別会計の歳出予算の事業の概要を御用意ください。

1 ページの上の段の介護給付費等準備基金積立金ですが、1億2,752万円を増額しております。これは、令和4年度介護保険事業特別会計決算における決算収支差の額から、令和4年度交付金返還予定額を除いた額について、介護保険事業を今後も安定的に運用するために、介護給付費等準備基金積立金として積立てを行うものでございます。

次に、1 ページの下段、償還金ですが、1,467万2,000円を計上しております。これは、令和4年度に社会保険診療報酬支払基金から概算で交付を受けた交付金について、実績に応じて返還するものでございます。

説明は以上でございます。

○**今城分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見を求めます。

錦織委員。

○**錦織委員** この上の段の基金への積立てなんですけれども、この基金の積立てっていうのは、今幾らになってるんですかね、改めてお聞きします。

○**今城分科会長** 足立長寿社会課長。

○**足立長寿社会課長** 基金の積立額でございますけれども、令和4年度末時点では、15億4,201万6,018円でございます。今回、積立額として1億2,750万考えておりますので、トータルで16億6,951万6,018円という額でございます。

○**今城分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** この予算のほうは分かりましたけども、16億っていうものの基金があるんですが、これを例えば介護保険料の引下げとかっていうことに使うには、そういう考え方はどうでしょうか。

○**今城分科会長** 足立長寿社会課長。

○**足立長寿社会課長** この基金を介護保険料の引下げに充当できないかというお話だと思います。この第8期の保険料につきましては、令和3年度から5年度の3年間というところで保険料の算定をさせていただいております。その中で、もともとの基金から5億5,800万円を充当した上で、今回の保険料をさせていただいたというところでございます。今回の予算が通りますれば16億を超えた金額になりますけれども、今度、令和6年度からの第9期の保険料の算定っていうのは今年度行いますので、その検討の中で、どの程度充てることができるかということも含めて検討をさせていただきたいと思っております。

○**今城分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** ぜひ、引下げの方向を検討していただきたいと要望します。以上です。

○**今城分科会長** ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**今城分科会長** ないようですので、以上で福祉保健部所管部分については審査を終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午後1時12分 休憩**

**午後1時26分 再開**

○**今城分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

予算に係る分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

報告に入れる意見につきまして、委員の皆様のご意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○**今城分科会長** それでは、特になかった旨、報告をさせていただきます。

次に、決算分科会長報告に関する協議を行います。

15日の決算分科会で、発言のありました委員から提出をしていただきましたものを取りまとめ、配付させていただいております。御覧いただいているということを前提にいたしまして、内容について協議をいたします。

まず、指摘事項に関しましては、委員会の総意として意見が一致した内容のみを提出するというようになっておりますので、御了承ください。

それでは、提出された委員の皆様から説明、また、意見などございましたら、皆様から御意見を頂戴したいと思います。上のほうから御説明があればお願いします。

では、最初の事業番号62番のほう、矢田貝委員にお願いしました。何かありましたら、矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 地域力強化推進事業ですけれども、主に地域福祉活動支援員というところについての役割を明確にしていく必要があるのではないかと。その上で拡充ですね、今4名なんですけども、そういったことを地域福祉計画、重層的支援の全体の中で、今後求めていきたいというような書き方にさせていただきました。皆様、気づかれたところがありましたら直していただき、皆様に御賛同いただければと思います。

○**今城分科会長** ほかに御意見などございますでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○**今城分科会長** では、この指摘事項も含めての文面としてよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○**今城分科会長** 承知いたしました。

続きまして、事業番号282番、準要保護生徒就学援助事業について、錦織委員に作っていただきました。御説明などありましたら。

錦織委員。

○**錦織委員** 米子市内の中学校における準要保護生徒就学援助、この事業の充実、拡充ということで、現在、就学援助の支給対象になっていない部活動費について、ぜひ支援の対象にさせていただきたいということです。ここにも書いてますけども、部活は人格形成の上でも大変重要なことを占めてるってということで、中学校に入ると皆さんが、全員が部活動をするということにも位置づけられておりまして、そういった中で、いろんな費用が重なって、生徒家庭の重い負担となっているのは現実なので、それが金額が幾らかということは別にして、支給対象にぜひ入れてほしいということをここではお願いしたいというふうに思っています。ぜひ、御賛同いただきたいと思います。

○**今城分科会長** ほかに御意見などございませんでしょうか。

安達委員。

○**安達委員** 内容はこのような記憶にあるんですが、1行目、助詞がどこかに入らんですか。すごい長い漢字が連なっていくんですけど。趣旨を変えずに、準要保護生徒就学援助認定者まで、ずっといかなきゃいけませんか。

○**錦織委員** 米子市内の中学校におけるっていうのは、別にもうなしにしてしまってもいいんですけど。

○**安達委員** ええ、それは必要でしょう。準要保護から。

○**錦織委員** この認定者が、準要保護とかって言わないで就学援助っていうふうなのが短い言葉、私たちは就学援助って言って、一般的には言ってるんですけど、でもこの場合はやっぱり就学援助かなっていうふうに、正式に言わないと。

○**安達委員** だから息継ぎがしたいなど。

○**錦織委員** ちょっとね、長いんですけどね、これが正式な名称なので。

○**安達委員** すみません、却下します。そういうことなら。

○**錦織委員** 皆さんが、就学援助だといいつて言われるんだったら、それに替えてもいいんですけど。

○**安達委員** いいですよ。

○**今城分科会長** ほかに。

矢田貝委員。

○**矢田貝委員** すみません。思いは全くそのとおりで私も思います。が、部活動に係る費用の部分をどのように算出をし、援助していくのかって、基準がちょっと示しにくい部分がありまして、この指摘事項に入れてくるってということについては、ちょっと私、賛成はできないんですけども。いかがでしょうか。

○**今城分科会長** 矢田貝委員は賛成できないということですね。

○**矢田貝委員** はい。

○**今城分科会長** ほかに御意見。

塚田委員。

○**塚田委員** 私もちょうと、まだ中学校、県とか国とかの方向性がまだ定まってない中で、まだちょっと早いんじゃないかなと、私自身もちょうとと思いますので、もう少し様子を見ながらでもまだいいんじゃないのかなと。ちょっと時期尚早かなというふうな感じは思いました。

○**今城分科会長** それでは、同意はできないということではよろしいですか。

ほかにはございますか。

戸田委員。

○**戸田委員** 私も、錦織委員さんの考え方はよく理解します。しかしながら、今、先般の当局の説明がありましたように、総合的に考えていかなければならないという判断だったと思います。私が今思いますのは、スクールソーシャルワーカー、相談員といろいろなまだまだ優先的な事案が、解決せないけん事案が結構あると思うんです。私は、そういうふうな優先事項の考え方からいけば、このたびのいわゆる指摘事項にはちょっとそぐわない、賛成できないというような考え方でございます。私の意見はそうです。

○**今城分科会長** では、残っていますのは西野委員ですが、御意見ございますか。

西野委員。

○**西野委員** そうですね、錦織さんの意見も本当分かります。これの支援対象者が、もう既に準要保護生徒ですね、支援を認定されている家庭のお子さんは、既に何らかの支援されていますので、もしそういう予算があるなら、私は多胎児の家庭のほうにちょっとその予算を配分してほしいなど。もう既に支援されてるので、そういった面で。そういう意見です。

○**今城分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** 塚田さんが、県とか国とかの方向性ってというのは、どんな方向性のことなのか、ちょっとざっくりしてて。

○**今城分科会長** 塚田委員。

○**塚田委員** 地域移行の部活動、中学校は今、地域移行のほうに向かっていってますけど、まだ米子市としても明確なものができてないっていうのが、まだ現在そういう状況ですの、明確なものははっきりできてきてからでも、どういった部活動を今後進めていくのか、どういった部活動が生き残っていくのかっていうのが分かってからでも、まだ検討の余地はあるんじゃないかなとは思いますが。

○**今城分科会長** 皆さん御意見頂戴しました。

先ほどの御意見からいたしますと、先ほど申し上げましたとおり、委員会としての総意というふうに指摘事項はする必要がございますので、同意できないと言う方がいらっしゃいますので、このことについては、指摘事項というふうにしないということにしたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○今城分科会長** では、そのようにさせていただきたいと思います。

では、以上で予算決算委員会民生教育分科会を閉会いたします。

**午後 1 時 3 6 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会民生教育分科会長 今 城 雅 子